

表 糖尿病患者の検査実施割合および薬剤処方割合の推移\*

糖尿病患者数**	2007年度 (1,908人)	2009年度 (3,060人)	2011年度 (8,531人)	2013年度 (15,222人)	2015年度 (32,471人)	評価***
<b>血糖検査</b>						
HbA1c検査(年1回以上)	93.7%	95.5%	95.8%	95.8%	95.9%	良好
HbA1c検査(3ヶ月1回以上)	68.2%	69.3%	69.2%	68.3%	68.9%	向上せず
<b>脂質検査</b>						
血清脂質検査(年1回以上)	75.5%	83.3%	84.9%	84.9%	85.4%	向上
<b>網膜症検査</b>						
眼底検査(年1回以上)	42.0%	40.3%	38.5%	37.8%	38.7%	向上せず
<b>腎症検査</b>						
尿アルブミン検査(年1回以上)	14.0%	20.3%	21.5%	23.3%	24.2%	向上したものの低い
血清クレアチニン検査(年1回以上)	88.0%	88.2%	88.2%	88.3%	88.6%	良好
<b>薬剤処方</b>						
スタチン処方 (脂質異常症を並存した患者へ)	61.7%	64.3%	64.5%	65.0%	64.1%	向上
ACE阻害剤またはARB処方 (高血圧治療薬処方患者へ)	77.0%	78.9%	82.5%	83.6%	82.0%	向上

\*論文本文のTable2より作成した。項目により評価方法が異なるため詳細な定義や結果は本文を参照のこと。

\*\*3ヶ月に1度以上の頻度で医療機関を受診し糖尿病治療薬の処方を受けていた糖尿病患者である。

\*\*\*「評価」はプレスリリースのために著者らが加筆した。なおこの表にある数値(粗率)だけでなく、共変量(性別、年齢など)で統計学的に調整後の結果(論文本文のFigure 2、3)も踏まえて総合的に評価した。